

## 図案表現 課題

2026年・前期の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

### テーマ：駅前商店街の空き店舗の利用計画

～にぎわい創出をねらって～

#### － 出題の背景 －

全国各地の商店街は、時代の流れや後継者不足などから衰退の一途をたどるケースが多い。しかし、賑わいを取り戻している商店街も出始めている。新しい視点や考え方で商店街（商業）のあり方を見直し、ビジョンを示すことで商店街を復活させることができる。

#### － 周辺環境等 －

- この町は、良質な米の産地として知られる地域で、一方、古い町並みを利用した、映画やテレビのロケ地として活用されている。
- 計画するこの商店街は、かつては地域の中心として賑わいを見せていたが、約20年前より徐々に空き店舗が増え、現在ではシャッターが目立つ状況となっている。
- 近年、商店街の一角にある喫茶店が改装・復活し、地域内外から一定の来訪者を集めるようになったことで、本商店街は再び注目され始めている。また、商店街の空き店舗の空間を活用し、現在は、オフィス事務所やイベント貸し空間として利用され始めている。しかし、その賑わいはまだ一部にとどまっており、商店街全体の活性化には至っていない。
- なおこの商店街は、アーケード型商店街で、計画店舗を含むファサード前の主要通路は歩行者専用道路となっている。
- このような状況を踏まえ、さらなる発展のきっかけとなる店舗のあり方を考え計画する。

#### － 設計対象等条件 －

計画場所に、次のいずれかの業種のうち、1つの業種を選び計画する。

- (1)「**伝統工芸・焼物・雑貨店**」、(2)「**酒販店**」、(3)「**和菓子店**」、(4)「**コーヒーショップ**」

#### － 設計図書 －

設計主旨： 200字程度で具体的にかつ簡潔に記述する

平面図： 縮尺1：100、鉛筆等を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図： 内観パースとする。店外からのファサードではなく、店内の主要なサービス動線や商品ディスプレイの演出意図が伝わる、客席や売り場からの視点で表現する。  
(イメージパース) 一点透視図法または二点透視図法で、色鉛筆またはマーカーで着色する（併用可。必要に応じ、仕上を記述する。）

[答案用紙：A3判 × 2枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子機器の中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。